

# 気象の経過と柑橘および落葉果樹の生態

令和4年7月5日

静岡県農林技術研究所果樹研究センター

## 1. 生態調査

柑橘は清水区新田ヶ谷で調査し、落葉果樹は清水区茂畑で調査した。

### <柑橘（青島温州）>

- 着果状況（開花30日後、6月10日時点）

葉果比は8.1、着果率は24.5%であった。

※着花量が多く、またその後の着果率が高かったため、現時点では着果量が例年よりも多い。

- 生理落花（果）の波相

生理落果は6月5日時点をピークに、以降は漸次減少し、6月30日現在までにほぼ終了している。

- 果実肥大状況（6月30日時点）

横径は26.8mm、縦径は22.4mm、果形指数は120であった。

### <落葉果樹>

- ナシの果実肥大状況（6月30日時点）

幸水は縦径41mm、横径51mmであった。

豊水は縦径45mm、横径49mmであった。

- キウイフルーツの果実肥大状況（6月30日時点）

推定体積は、ヘイワード33cm<sup>3</sup>であった。

※レインボーレッドは病害により伐採したため平成30年度から調査を中止している。

## <柑橘>

着花（果）状況<sup>※1</sup>（開花 30 日後、6 月 10 日時点、静岡市清水区新田ヶ谷）

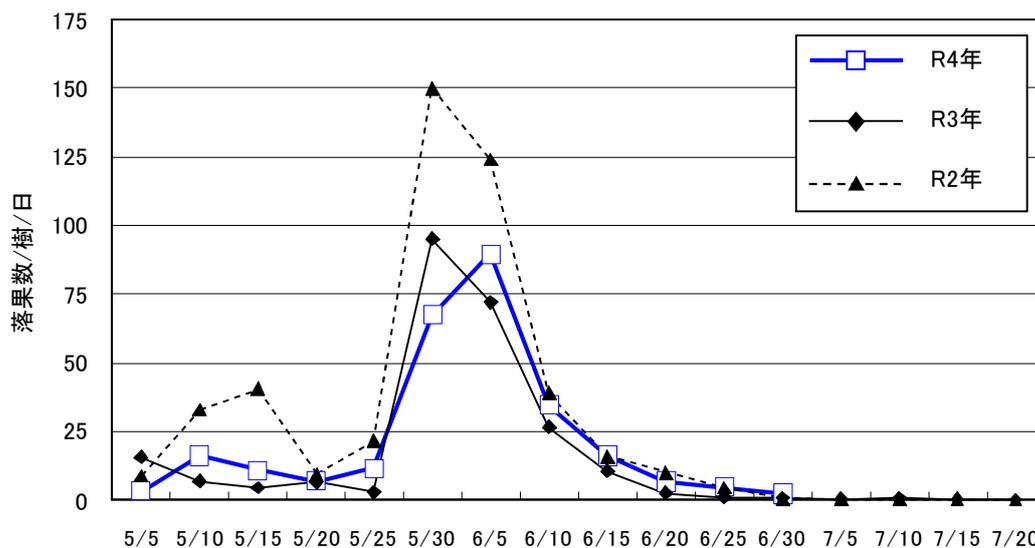
年度	青島温州		
	葉花比	葉果比	着果率 (%)
4 年	2.0	8.1	24.5
3 年	1.5	12.3	11.9
2 年	1.3	9.8	12.9
平年 (参考 <sup>※2</sup> )	3.8	14.4	26.1

※1：葉花比は開花期時点、その他は開花 30 日後の調査データ

※2：平年値は静岡市清水区駒越西における 1980 年から 2015 年までの平均

生理落果の波相（静岡市清水区新田ヶ谷）

### 青島温州



※50cm×50cm の箱を垂主枝の下に 1 樹あたり 4 箱配置し、5 日間隔で落果数を調査。

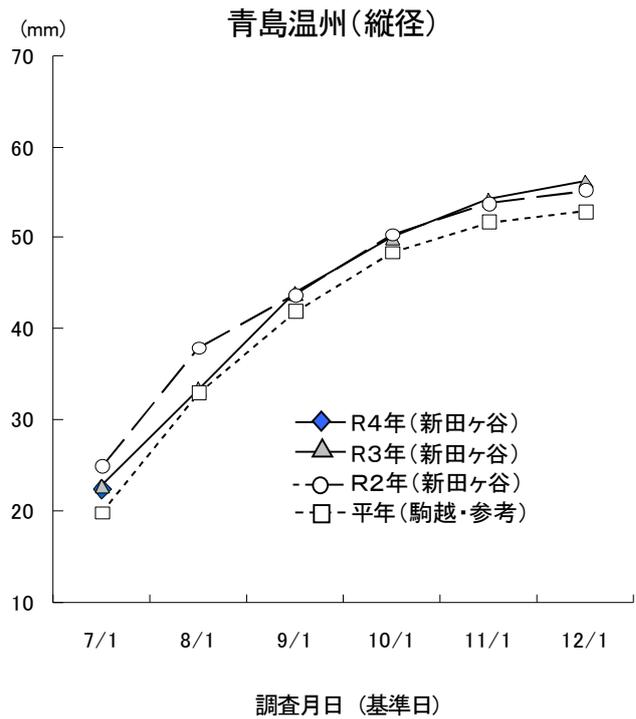
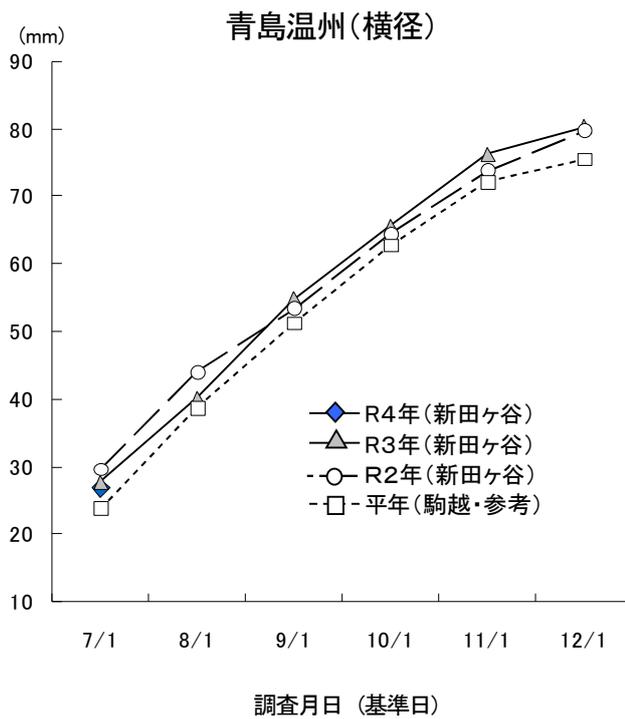
1 日・1 樹当たりの落果数に換算した。

果実肥大状況（6月30日時点、静岡市清水区新田ヶ谷）

年度	青島温州		
	横径 (mm)	縦径 (mm)	果形 指数
4年	26.8	22.4	120
3年	27.7	22.8	122
平年 (参考*)	23.8	19.8	120

※平年値は静岡市清水区駒越西における1978年から2015年までの平均

果実肥大曲線（静岡市清水区新田ヶ谷）



## <落葉果樹>

### 落葉果樹の果実肥大経過

ナシの肥大経過（令和4年度、径はmm）

幸水		6/10	6/20	6/30	7/10	7/20	7/30	8/10	8/20
縦径	4年	31	36	41					
	3年	30	34	41					
	平年*	30	34	40					
横径	4年	36	42	51					
	3年	33	39	48					
	平年*	34	39	47					

※平年値は浜松市北区都田における1965年から2015年までの平均値

豊水		6/10	6/20	6/30	7/10	7/20	7/30	8/10	8/20
縦径	4年	34	38	45					
	3年	36	41	47					
	平年*	33	37	43					
横径	4年	36	41	49					
	3年	37	44	53					
	平年*	35	40	47					

※平年値は浜松市北区都田における1965年から2015年までの平均値

キウイフルーツの肥大経過（令和4年度、径は mm、体積は cm<sup>3</sup>）

ヘイワード		7/1	8/1	9/1	10/1
縦径	4年	51			
	3年	49			
	平年 <sup>※1</sup>	57			
長横径	4年	38			
	3年	41			
	平年 <sup>※1</sup>	42			
短横径	4年	33			
	3年	36			
	平年 <sup>※1</sup>	39			
推定体積 <sup>※2</sup>	4年	33			
	3年	36			
	平年 <sup>※1</sup>	49			

※1：平年値は浜松市北区都田における 1965 年から 2015 年までの平均値

※2：推定体積は楕円形として計算した。（推定体積 =  $\frac{4}{3}\pi \times \frac{\text{長横径}}{2} \times \frac{\text{短横径}}{2} \times \frac{\text{縦径}}{2}$ ）

※レインボーレッドは病害により伐採したため平成 30 年度から調査を中止している。